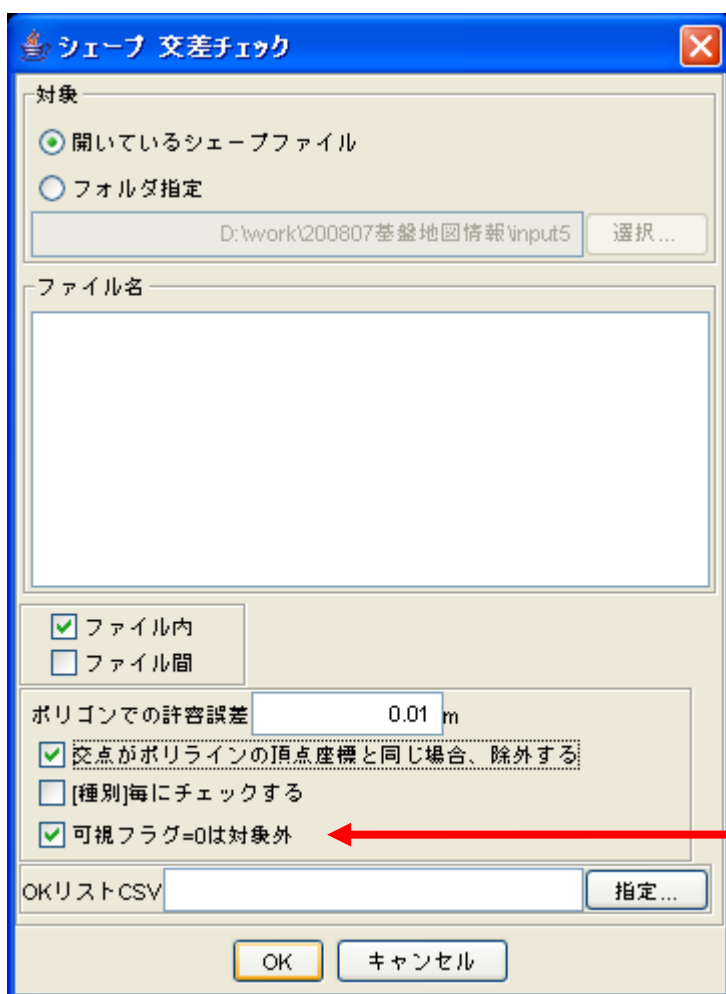


1. シェープ 交差チェック

メニュー[チェック]-[シェープ 交差チェック]に検査オプション[可視フラグ=0は対象外]を追加しました。



可視フラグ=0は対象外

シェープファイルに属性「可視フラグ」の値が0の場合、そのシェープを検査の対象外にします。値が0以外あるいは空白の場合は検査対象です。

メニュー[基盤地図情報]-[シェープファイル検査]の「位相一貫性3」の「交差チェック」では、可視フラグが0の場合は対象外にしました。

2. JPGIS-XML交差チェック

メニュー[チェック]-[JPGIS-XML 交差チェック]に検査オプション[可視フラグ=0は対象外]を追加しました。

JPGIS-XML 交差チェック

対象

開いているシェープファイル

フォルダ指定

選択...

平面直角座標系

1.長崎県 鹿児島県のうち北方北緯32度南方北緯27度

ファイル名

面(Surface)での許容誤差 0.01 m

交点が線(Curve)の頂点座標と同じ場合、リストアップしない

[種別]毎にチェックする

可視フラグ=0は対象外

OKリストCSV 指定...

OK キャンセル

可視フラグ=0 は対象外

地物に要素のタグ「可視フラグ」があり、値が 0 の場合、その要素を検査の対象外にします。要素がない場合、あるいは値が 0 以外の場合は検査対象です。

メニュー[基盤地図情報]-[基盤地図情報 XML 検査]の「位相一貫性 3」の「交差チェック」では、可視フラグが 0 の場合は対象外にしました。